



船谷ホールディングスグループ

代表取締役

ふなたに てつじ
船谷 哲司

Profile

昭和47年2月生まれ、54歳。
大学卒業後、大阪と神奈川で8年間にわたって建設会社の営業を経験。平成15年に船谷木材株式会社（現在の船谷ホールディングス株式会社）及び船谷建設株式会社に入社した。



優良企業ガイドはP475へ 【優良企業ガイド 2027】TSR企業コード:521015332

船谷ホールディングスグループ

本 社 / 〒515-0507 三重県伊勢市村松町1364番地8
TEL:0596-37-5600(船谷ホールディングス株式会社)
FAX:0596-37-5112(各社共通)
U R L / <https://www.funatani.co.jp>
設 立 / 昭和21年3月(創業:明治10年3月)

従業員数 / 93名(男性58名、女性25名)
売 上 高 / 63億400万円

文化財再生から賃貸事業まで幅広く展開 建設業の枠を超えた価値創造に挑戦

Q1 自社の魅力は何ですか？

船谷ホールディングスグループは、建築物の施工を主軸とする船谷建設株式会社を核としながら、建築物の管理・運営やリフォームを手掛けるエクノフ株式会社、そして飲食店の経営を通じてエンドユーザーに直接的なサービスを提供する合同会社Flarea（ふれりあ）など、多様な会社で構成されています。

船谷ホールディングス株式会社は、グループ全体の統括として、グループ各社の連携と事業間の相乗効果を追求。この連携強化を基盤に、近年は賃貸マンション事業に加え、公民連携事業や、特殊性が高い一般建築事業など、多角的な事業展開を推進しています。

そして2023年5月には、桑名市の地域に根差した建設会社である株式会社サトー工業をグループの一員に迎えました。さらに2024年7月には、名古屋市で高度な設計力を有する有限会社スペースアップ設計工房の事業を承継し、新たに合同会社スペースアップ設計工房エフを設立しました。

Q2 社員へ求めることは何ですか？

当社が社員に求めることは、個々の能力や専門性を活かしつつ、常に成長意欲を持ち、変化に対応できる柔軟性を備えていることです。個々の能力や専門性は、いわば「個性」という花を美しく咲かせるためのものであり、業務における独自の価値創造に繋がります。一方で、その個性を最大限に発揮し、組織全体の目標達成に貢献するためには、「素直な心」、すなわち、見えない土の中の根のように、上司や同僚からのフィードバックを真摯に受け止め、多様な意見を建設的に取り入れ、自身の業務改善やスキルアップに繋げる姿勢が不可欠です。私た

ちは、この「個性を活かす力」と「成長のために学ぶ姿勢」を兼ね備えた人材と共に、事業の発展を目指してまいります。

Q3 やりがいを感じることは何ですか？

やりがいを感じることは、建物の設計から施工、そしてその後の運営・管理まで、一貫通したサービスを提供できることです。一般的な建設会社は設計・施工で終わることが多い中、当社グループでは建物を「使ってみる」という視点を持っています。ホテル運営、飲食店経営、賃貸マンション管理など、実際に建物を活用することで、「こうしておけばよかった」という実感を次の設計・施工に活かすことができ、継続的な改善サイクルが生まれているのです。

特に印象深い事例として、伊賀市の旧上野市庁舎のリノベーションがあります。戦後モダニズム建築の第一人者である坂倉準三氏が設計したこの文化財を、ホテル・図書館として再生し、現在も運営を継続。この取り組みが評価され、「クールジャパンアワード2025」を受賞することができました。

建設業を主軸とする当社が文化財の保護という地域の職責を果たし、建物に新たな役割を与えて存続させることができたことに、大きな達成感を実感しました。建物は役割を失えば朽ちていくものですが、新しい価値を与えることで再び輝きを取り戻すことができます。三重県の文化財保護に貢献できたことは、建設を標榜する企業としての使命を果たした瞬間でした。

会社の敷地内には彫刻家・平松嵩児のギャラリーを併設。アトリエを兼ねた作品展示室となっており、自然の秩序の中にある現象や記憶、存在の作用をテーマとした作品が展示されている。



平松氏による作品「遠い岬」は、宮崎県串間市にある「都井岬」に生息する野生の馬をテーマに、流木とテラコッタ素材を使用した作品。たくましく生命を繋ぎ、生活を営んできた馬たちの姿を表現している。

